

次期への引継ぎ事項(事務局案)

引継ぎ事項(案)	理由・考え方
1. 市民活動・地域活動の担い手づくり	人口減少社会が到来し、高齢化が進行する中で、市民活動や自治会、まちづくり協議会をはじめとする地域活動における担い手づくりが課題となっています。第5期の促進委員会においても、複数の委員から担い手不足に関する問題提起があったこと、また、市民協働推進課業務においても、実際に多くの地域から担い手不足についての声を聴いていることから、課題解決に向けた対策等への期待値は高く、検討を進めたいと考えています。
2. 協働の事例の収集・検証	これまで構築してきた協働の仕組みを検証していくためには、現場で生まれている事例の収集及び検証が欠かせません。事例からうまくいったポイント・うまくいかなかったポイントなどを抽出・分析することで、協働のマニュアルの検証や事例集の更新、そして、5年を超えない期間ごとに検証するとしている「宝塚市協働のまちづくり推進条例」の検証にもつなげていきたいと考えています。
3. 市民・市職員への協働に関する意識啓発	協働を推進していくためには、市民及び市職員への意識啓発に継続して取り組んでいくことが大切です。コロナ禍の影響により令和元年度を最後に中止している「市民説明会」を再開するとともに、「職員研修会」についても継続して実施する等、引き続き、意識醸成を図るための取組を実施したいと考えます。
4. コミュニティビジネスの育成・支援の推進	市民活動・地域活動のさらなる活性化を図るため、地域資源を活用した事業により地域課題の解決を図る「コミュニティビジネス」について、本市や他自治体における事例の研究を通して、育成・支援のあり方について検討したいと考えています。